

メッセージ題「神の声を聴く」 <先週の講壇より>

「主はわれらの神であり、われらはその牧の民、そのみ手の羊である。どうか、あなたがたは、きょう、そのみ声を聞くように。」詩篇 95:7 【口語訳】

ある事情がありまして、我が家は新しいペットとして猫を迎え入れることになりました。今までの人生の中で、私も妻も猫を飼ったことはありませんし、むしろあまり得意ではありません。でも複雑な事情があり、飼うことになったのですが、飼ってみればそれはもうカワイイものですね。おかげで日々、猫との生活を楽しくしています。

妻いわく、この猫は人間の言葉をしゃべるといいます! ? 普段は「ニャ〜」となくわけですが、お腹がすいているときは「ごは〜ん」となくというのです。そう思って聞いてみると、うーん、なるほど、確かにそう言っているような、気のせいのような・・・。

民数記 22~24 章には、ロバが人間の言葉を話すという不思議な出来事が記されています。それは占い師バラムが神様の御旨に逆らい、聞く耳を持たなかったので、神様はロバに人間の言葉を与えます。それによってバラムはようやく神様の言葉に耳を傾け、その結果として、イスラエルの民は祝福を受けたのでした。

神様の声に聴く、そして従うということ。それは私たちを生かし、正しい道へと導きます。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2022 年 9 月 11 日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ 29 : 11

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

